

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実	施策の目的	安全な暮らしを確保する	施策	交通安全
-------	---------	-------	-------------	----	------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
交通安全施設の整備	交通安全施設の整備	生活環境課
交通安全教育と啓発	交通安全協会、交通安全母の会などの活動支援	生活環境課

目標

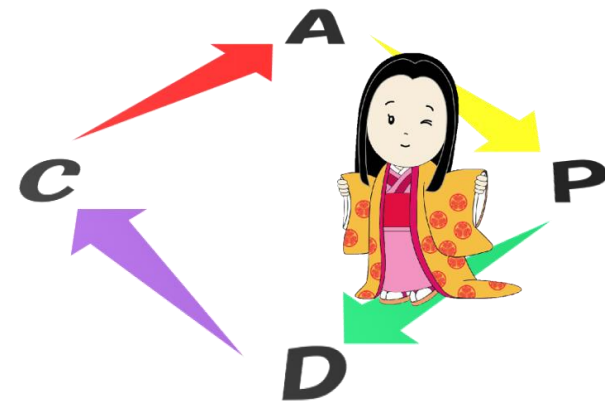
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
交通安全対策に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	27.5%	32.5%
交通事故件数	市内交通事故発生件数	交通安全施設等の整備を進め, 減少を目指す。	190人	減少

令和2年度 of 取組状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

歩行者と車両の分離や自動車の速度制限等, 通学路の安全確保に努められたい。立哨やパトロールについても, 企業や各種団体の協力を得るなど, ローコストでの安全対策は可能であると考えます。市民の協力も得やすい事業なのではないか。コロナ禍により学校での交通安全指導の機会が減少している中, 家庭での交通安全教育を促す必要がある。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	交通安全施設の整備			
担当	生活環境課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	11目	2事業
事業の目的	市民が安全・安心して生活できるように、交通環境の整備を継続的に行い、交通事故件数の減少を目指す。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	安全な暮らしを確保する
施策	交通安全
施策の方向	交通安全施設の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	29,952千円
	うち 特定財源	6,700千円
成果目標		90 件
実施内容と改善点		
各自治区・学校等から交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものから順次計画的に整備を進めていく。交通安全対策に対する市民満足度を向上させるため、交通安全施設整備を推進する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	交通安全施設等について、設置及び撤去などの自治区長等からの要望の中から、工事が可能なもので、至急対応が必要な案件について、優先的に対応した。
分析	交通安全施設整備については、市民等から例年多くの要望があり、多数の未整備案件を抱えている。また老朽化した交通安全施設の再整備も必要となり、すべての要望、案件には対応できない状況である。危険性等を考慮しながら整備していく。

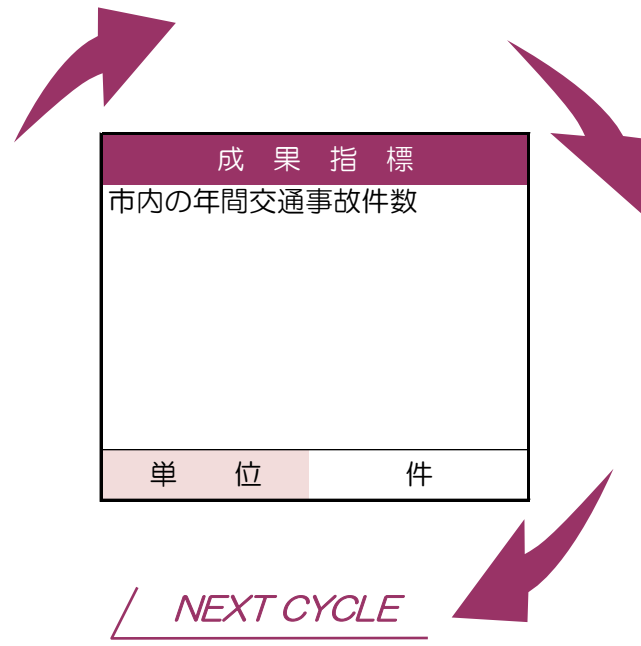
【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	28,810千円
	うち 特定財源	6,690千円
成果実績		98 件
当初の成果目標		－ 件
実施内容と改善点		
各自治区・学校等からカーブミラー、防犯灯、デリネーター、ガードレール、グリーンライン等の交通安全施設の要望があった中から、緊急性の高いものから順次計画的に整備を行った。(工事件数：99件)		

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		件
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
件		件



NEXT CYCLE

令和元年度	決算額	28,854千円
	うち 特定財源	6,602千円
成果実績		122 件
当初の成果目標		－ 件

事業の説明

事業名	交通安全協会、交通安全母の会などの活動支援			
担当	生活環境課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	11目	1事業
事業の目的	交通安全関係機関及び関係団体との連携を強化し、交通安全運動を推進することにより、交通安全意識の高揚を図る			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	安全な暮らしを確保する
施策	交通安全
施策の方向	交通安全教育と啓発

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	855千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		10回
実施内容と改善点		
年4回の交通安全運動期間毎に啓発活動を行う。(春・夏・秋・年末) 関係団体の啓発活動の支援を行う。 コロナ対策のため接触を減らした啓発活動で対応する。		

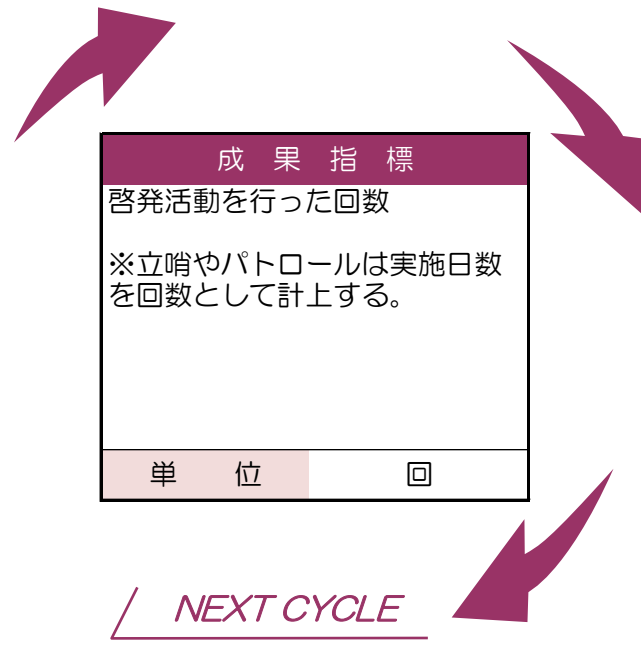
【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新型コロナウイルスのため各団体とも啓発活動の機会が中止・縮小され活動回数は激減せざるを得なかった。立哨活動等は参加人数を最小限にし、縮小して開催することができた。
分析	啓発活動に不特定多数の人との接触が伴うため、各団体とも例年通りの活動ができずにいる。市としても感染対策の方法や接触を減らした啓発方法を協力して模索する必要があると考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	900千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		7回
当初の成果目標		1回
実施内容と改善点		
年4回の交通安全運動期間に立哨活動を行った。(春・夏・秋・年末) 参加：常総警察・安協・安管・母の会 市内小学校での交通安全教室 常総警察・安協 高齢者への啓発活動 母の会 安協の立哨活動の協力 コロナ禍のため活動の機会が減ってしまった。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回